

自己評価公表シート

令和4年度 社会福祉法人徳風会

(実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1、本園の保育目標

健康で安全な暮らしのできる子 自分のことは自分でできる子
友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

すべての課題の基となる人材の確保
保育の質の確保のための人材の育成
勤務環境改善に向けての業務の削減

3、評価項目と取り組みの状況

評価項目	取り組み状況
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	保育目標のもと、保育の計画に当たっている。 学年別会議等で共通理解を持つよう努めている
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	子どもの生活の実態に合わせ保育を行っている。 療育センター等の助言を受けている。
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	県・市が行う研修に可能な限り参加する。 各年齢別の会議、給食会議等を行なっている。
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきことについては対応をしている。保護者参加の行事等で、園の考えを伝えるよう努めている。

4、項目別の評価の集計

* 評価を行い、上記のような結果が出た。具体的には、下記のような意見が出された。

項目	よく できている	まあまあ できている	あまり できていない	できていない
保育の計画性・共通理解	3/6	3/6		
計画に基づく保育の実施	2/6	4/6		
計画・実施の反省・評価	2/6	4/6		
子どもの姿の把握	4/6	2/6		
保護者とのかかわり	2/6	4/6		
関係機関とのかかわり	3/6	2/6	1/6	
研修への参加・実施	4/6	2/6		

5、今後取り組むべき課題と、取り組みの成果

項目	具体的な課題の内容
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	<p>保育内容やこどもの姿について、職員間で話をする機会を設け、共通理解を持ちながら保育を進めていくことができた。</p> <p>しかし、その一方で、年度の後半は行事や日々の業務に追われ、計画していた保育が思うように実施できない部分があった。保育の時間と日々の業務の時間の使い方をもっと工夫してより充実した保育ができたらよかった。</p> <p>保育の成長に合わせて保育をすることができたと思う。行事の期間は準備や練習で自由な時間が少なくなってしまったので、練習内容の見直しをしたり、少ない自由時間の中で、楽しめる遊びを提示したりできたら良かったと思う。</p> <p>こどもたちの姿を話し合いながら保育の計画を立て、それに対する反省や評価をすることができた。</p>
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	<p>複数の保育士で子どもを見ているため、こどもの姿や体調面、家庭での様子等の連絡事項を職員同士で伝え合い、こどもたちが安心、安全に過ごせるような環境作りを心掛けた。</p> <p>クラス担任で連携を取り、意見を出しやすい環境作りを心掛けたが、なかなか充分な話し合いの時間が取れなかった。</p> <p>大きな怪我はなかったが、噛みつきや手が出てしまうことを防げなかったことがあったので、状況把握や職員同士の連携をさらに努めていきたい。</p>
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	<p>キャリアアップ研修以外にも、興味のある分野のものに積極的に参加できる環境を作っていきたい。</p>
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	<p>保護者からの育児相談や悩みを聞いたりしたときに、「こうしたら良いのではないかと、こうしたらうまくできるのではないかと」等、色々な方法を提案できるような引き出しを増やしていきたい。</p> <p>送迎時にコミュニケーションを図り、育児やこどもの発達に不安を抱えている保護者には、個別に面談をしたことで円滑な関係を築くことができたケースもあった。</p>
その他	

6、次年度に向けて

各クラス、各保育士は、限られた環境の中で、非常に前向きに保育に取り組んでいることが分かる。

不適切保育の問題が取り上げられることが多い中、前向きに保育に取り組む姿勢を持っていることは、非常に素晴らしいことだと思う。保育に対してネガティブな報道等が多いので、ともすると不安に押しつぶされそうになることもあると思うが、今後もこのような前向きな姿勢を持ち続けてほしいと願う。

職員の研修については、コロナ禍ということもあり、受講する機会が限られていた。今後は、キャリアアップ研修等、興味のある研修を積極的に受けられるような環境作りが、今まで以上に重要だと思う。